

矢賀 学区だより

広島県「みんなで減災」 一斉地震防災訓練に参加

十一月五日、四国沖にかけての南海トラフを震源とする大規模な地震を想定した一斉訓練に、矢賀学区自主防災会連合会は、中央集会所において16名が参加しました。

十時に「最大震度6弱」の地震を観測した想定の場合で、参加者は机の下に潜って安全を確保する訓練を行いました。

※安全行動1-2-3

地震発生時に身を守る3つの行動

- 1 姿勢を低くして(しゃがむ)
- 2 体や頭を守って、机やテーブルの下にかくれる
- 3 揺れが収まるまでじっとする(まつ)

続いて避難場所開設訓練として、エアーベツトと簡易テントの組立設置訓練を行い、一斉訓練を終了しました。



訓練の様子



男崎神社

七五三詣

十一月十三・十四日、原田宮司様によって、子供の成長を祈りご祈祷されました。3組のご家族に参加いただきました。来年も十一月に、開催します。参加をお待ちしています。



七五三詣

◆男崎神社年末年始の予定◆
幸先詣(さいさきもうで)

日時 十二月三十・三十一日
九時〜十五時

初詣

日時 一月一日

〇時〜二時 七時〜十六時
一月二・三日

九時〜十六時

男崎神社総代会

矢賀学区自主防災会連合会

会長 正田修一

会長 正田修一

ボランティアバンク
年末・年始のカレンダー

矢賀学区社会福祉協議会のボランティアバンクは、年末年始のカレンダーを次のようにします。

※年末・年始カレンダー※

	日	月	火	水	木	金	土
	5	⑥	7	8	9	10	11
12月	12	⑬	14	15	16	17	18
	19	⑳	21	22	23	24	25
	26	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	
1月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	⑩	11	12	13	14	15

(注)○=従来どおり派遣申込受付
/ =バンクと作業は休みます(網掛け)

【受付】
毎週火曜日10時～11時30分

矢賀学区社会福祉協議会
ボランティアバンク係
矢賀中央集会所(285)8163

小学校だより

子どもたちの笑顔が輝くとき
「コロナ禍」の行事を通して

【修学旅行】



秋吉台にて

十一月八日、九日の一泊二日で、六年生が山口方面に修学旅行に出掛けました。二回の延期を経てようやく行くことができた修学旅行です。一日目。秋吉台では、目の前に広がる雄大な景色に歓声が上がりました。秋芳洞では、長い年月をかけて作り出された自然の神秘に触れ、驚く様子が見受けられました。宿泊先となったホテルでは、おいしい食事や露天風呂付きのすてきなお風呂で、旅の思い出に花を添えていた

できました。

二日目に訪れた海響館では、イルカとアシカのショーに大喜びの子どもたち。そして家族にお土産を選ぶ時間にもいい笑顔でした。

思うように生活できないことが多い「コロナ禍」ではありますが、子どもたちは修学旅行を心から楽しんでいました。子どもたちの言動からは、修学旅行を実施できたことへの感謝の気持ちを感じ取ることができました。

【野外活動】



チャレンジ日本一周のゴール

十月二十七日、二十八日には、同じく一泊二日で、五年生が似島臨海少年自然の家にて野外活動を行いました。

二日とも晴天に恵まれ野外での活動

動を十分に行うことができました。

一日目の夜にはサプライズで学校に残っていた教職員が似島に向かいま

到着したのは、夜の「パークラフト」の時間。プレイホールで出会った子どもたちは、驚きながらも最高の笑顔で迎えてくれました。

仲間と力を合わせて活動することで、普段の生活では感じることのできない達成感を得ることができたのではないのでしょうか。一回り成長して、五年生が似島から戻ってきました。

【かけこキヤラバン】

また、十月三十日には、矢賀小学校のグラウンドで、「葉公民館とPTA文化部の方にお世話いただき、「かけこキヤラバン」を行いました。

土曜日午前中の開催でしたが、低・中学年を中心に約50名の子どもたちが参加し、その様子を多くの保護者の皆様に見守っていただきました。講師である広島大学陸上競技部の先生方に、「速く走るためのトレーニング方法」を教えていただき、実践しました。

最後には、全員が五十メートル走

のタイムを計りました。秋晴れのもと、しっかりと体を動かすことができた子どもたちの顔は晴れやかでした。

コロナが少し落ち着いてきて、様々な行事を行うことができるようになりました。これから子どもたちの心に残る思い出を積み重ねていけるよう、今できることを考え、工夫して行っていきたいと思っています。

子どもたちの輝く笑顔は、私たち大人に、前に進むエネルギーや幸せをもたらしてくれますから。

広島市立矢賀小学校

校長 村中 真由美

幼稚園だより

「友達とともに遊ぶ中」

十一月から始めた縄跳びチャレンジでは、清々しい朝の空気の中で活動し、楽しみながら進んで運動する意欲を育んでいます。縄跳び体操、前跳び、後ろ跳び、走り跳び、大縄跳びなどに取り組み、少しずつできる



人形劇観劇

ことが増えてきました。五歳児は、昨年の経験もあり、跳ぶ回数を競ったり、いろいろな跳び方を繰り返したりして、初めて自分の縄を手にした四歳児は、思い思いの跳び方を楽しんだり、縄の結び方ができるようになったりして、縄跳びに親しんでいます。先生や友達と一緒に大縄跳びにもチャレンジして「できた!」という喜びを味わっています。

十一月十六日には、未就園児親子対象の「わくわくランド」で人形劇を観劇しました。在園児も一緒に、温かい雰囲気の中、楽しい人形劇を観ることができました。舞台での表現の面白さや役になりきる楽しさをじっくり味わう機会となり、絵本やお話の大好きな子どもたちにとって、生活発表会の取組へのよい刺激となりました。

十一月半ば頃から、四歳児も五歳児も、友達とともにお話のイメージを広げ、登場人物になりきり様々な表現を楽しみながら、自分たちなりの劇をつくってきました。

子どもたちは、保護者の方に参観していただく発表会当日に期待を膨らませています。

十一月二十五日には、矢賀小学校での「防犯教室」に参加しました。東警察署の皆さんや、地域の協働員の皆さんから、防犯の意識を高める劇やお話を聞き、子どもたちなりに、自分を守る意識を高める貴重な機会となりました。

広島市立矢賀幼稚園

園長 木村みゆき

児童館だより

十一月十七日に幼稚園と小学校の参観に行かせていただきました。

幼稚園では、子どもたちが園庭で自分の好きな遊びに熱中していました。先生とドッチボールをする子どもたちは、ボールもしっかり投げて上手に遊んでいました。ペダルのない自転車に跨って園庭を何週もひたすら回っている子どももいました。飛んで行ってしまうのではないかと思うほど足がとて速く動いていました。

小学校では、全学年の授業の様子を見させていただきました。

タブレットを使った授業をされているクラスもありました。子どもたちが真剣に集中して授業を受ける姿を

- 十二月の予定
- 5日(日)生活発表会
 - 6日(月)代休
 - 8日(水)わくわくランド
 - 10日(金)うさぎルーム
 - 15日(水)ピアノコンサート
 - 16日(木)なかよし広場
 - 17日(金)お楽しみ会
 - 21日(火)避難訓練
 - 22日(水)降園指導
 - 23日(木)二期終業式
 - 28日(火)一斉閉庁日

見ることができました。真剣な中にも友だちと意見を交換したりしてリラックスした楽しい雰囲気もあり、見ていてうらやましいと思える授業でした。子どもたちの素直さプラス先生方の授業づくり、クラスづくりに対する思いと工夫で作りを上げていくのだらうな、と感じながら参観させていただきました。

児童館は、現在土曜日みの部分開館となっています。利用には事前の登録が必要となります。詳しいことは児童館にお問い合わせください。

令和四年度の放課後児童クラブの利用申込が来年一月から始まります。

矢賀児童館では利用申し込みに関する事前説明会を行います。児童クラブの申し込みや利用について分からないことなどありましたら児童館にお問い合わせください。

十二月の予定

4日(土)令和四年度放課後児童クラブ利用申し込みに関する事前説明会

11日(土)クリスマス工作

18日(土)クリスマスお楽しみ会

※児童館の利用には事前に登録が必要になりました。

広島市矢賀児童館

こんにちは 保健師です

皆さん、お久しぶりです。六月の学区だよりで紹介させていただきました「広島市東区障害者基幹(きかん)相談支援センター(以下、基幹センター)」の天崎です。

前回は、基幹センターが広島市の委託をうけて、東区の障害のある方や関係する皆さんのよろず相談を受けていることをお知らせしました。今回はその他の仕事について、ご紹介します。

東区には、障害のある方を支援する事業所が多数ありますが、その事業所の皆さんに参加していただいている「広島市障害者自立支援協議会東区地域部会」という会議体があり、

事務局を基幹センターが担当しています。

この東区地域部会の中には、主に障害のある子どもさんを支援する事業所を対象にした「こども部会」、障害のある大人の方を支援する事業所を対象とした「おとな部会」、主に精神障害の方の支援について検討する「地域支援部会」、災害の情報を提供する「災害部会」という四つの部会があります。

事務局として、それぞれの部会が活動していくためのサポートや、研修会の開催、イベント等における障害者支援事業所の焼菓子や小物などの自主製品の販売の連絡調整などを行っています。

また事業所の皆さんの顔の見える関係づくりのための会議を定期的開催し、情報交換や意見交換を行っています。新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発令された際は、当初は会議を中止していましたが、今どきのZOOMを使ってオンラインで会議を持つようにして、コロナ禍においても皆さんの活動をしっかり支えています。

を支援する事業所も支援することで地域の中のかながりを強化する取組を行っています。

インターネットでも、「広島市障害者自立支援協議会 東区地域部会」こども部会で検索していただくとポータルサイトがあつて、活動の一部をご覧いただくことができます。

また現在「こども部会」では事業所での運動会を企画しており、そのための体操を作りました。YouTubeにアップしていて、「おゆるりたいそうMIX」で検索してもらつと、楽しい体操をご覧いただけます。

障害のある方を支援している事業所のことなど、お聞きになりたいことがあれば、どうぞお気軽に基幹センターへご連絡ください。今後ともよろしく願います。

広島市東区障害者基幹

相談支援センター

主任相談支援専門員 天崎 靖

電話 083-273-0140

受付時間 月・金曜日

8時30分～17時15分

(祝祭日、年末年始など休みあり)